

令和2年7月9日

魚沼市議会議長 遠藤 徳 一 様

産業建設委員会

委員長 佐藤 敏 雄

産業建設委員会調査報告書

本委員会は、所管事務について下記のとおり調査したので、魚沼市議会会議規則第110条の規定により報告します。

記

- 1 調査事件名 (1) 市内スキー場の現状について
(2) その他
- 2 調査の経過 7月9日に委員会を開催し、付託案件の審査を行った。
市内スキー場の現状について、執行部から報告を受け、質疑を行った。

産業建設委員会会議録

1 審査事件

(1) 請願第2号 種苗法一部改正案の撤回を求める請願書

2 調査事件

(2) 市内スキー場の現状について

(3) その他

3 日 時 令和2年7月9日 午後4時

4 場 所 本庁舎3階 委員会室

5 出席委員 星 直樹、浅井宏昭、富永三千敏、佐藤敏雄、岡部計夫、(遠藤徳一議長)

6 欠席委員 大屋角政

7 説明員 武藤産業経済部長、鈴木観光課長

9 書記 佐藤議会事務局長、今井主任

10 経 過

開 会 (16:00)

佐藤委員長 大屋委員から欠席の届出がありましたので報告いたします。定足数に達していますので、ただいまから産業建設委員会を開会します。これから本日の会議を開きます。

(1) 請願第2号 種苗法一部改正案の撤回を求める請願書

佐藤委員長 日程第1、請願第2号 種苗法一部改正案の撤回を求める請願書を議題とします。本件につきましては、第2回定例会で継続審査となりました。秋の臨時国会で審議される見込みとの情報ですので、次の定例会で委員会としての結論を出せるよう、情報収集に努めてまいりたいと考えております。本件については、以上としたいと思います。

(2) 市内スキー場の現状について

佐藤委員長 日程第2、市内スキー場の現状についてを議題とします。本件について執行部の説明を求めます。

武藤産業経済部長 市内の4つのスキー場につきましては、民営化に向けた協議を行って

るところでございますが、現在の状況につきましてご報告をさせていただきます。まずスキー場につきましては、委員の皆様も御存じのとおり、令和元年2月定例会におきまして無償貸付期間の延長を承認いただいたところでございます。それを受けまして、今年3月末まで民営化に向けたそれぞれのスキー場との交渉を行ってまいりました。それを受けて令和2年度の4月に、また交渉を再開いたしまして、今の状況といたしましては民営化に向けてどのような状況であれば、どのような条件であればそれが可能なのかということで、各スキー場にその要望、どういう状況であれば可能であるかを教えてくださいということで進めております。今現在、結論としましては明確に民営化の方針が固まった事業者はございませんが、今後進めてまいる中で今の4つのスキー場の進捗の概況を担当課長からご報告させていただきたいと思っております。

鈴木観光課長　私から、4月の段階で4つのスキー場と打合せを行った状況について報告をさせていただきます。最初の日は大湯温泉スキー場の経営者の皆さんと協議をさせていただきました。その際5名の方から出席をいただいて、現状を踏まえ、民営化に向けた意見等を聞かせてもらいました。その際には、コロナ関係の対応とにかく追われている状況ということで、現時点ではスキー場の民営化に向けての内容について、メンバーの中での協議はまだ進んでいないというようなお答えをいただいたところです。現時点においても協議をしているというところで終わっております。次の日に須原スキー場と協議をさせていただきました。須原スキー場については3名の方からお越しいただいて協議しました。須原スキー場については、施設も大きなことから将来的な見通しも含めて十分に考慮していかなければならないということで、その後4月以降についても代表の方、もしくは支配人の方と個々での協議もしているところですが、先ほど部長の説明のとおり、現時点では明確な回答はないと、ただ民営化に向けて協議は進めていただいているという状況だと認識しております。その次の日に薬師、小出スキー場それぞれ午前と午後ということで協議をさせてもらっております。薬師スキー場についても4名の方から出席をいただきまして、現在その周りがあるゆ〜パーク薬師やヤッコムといったほかの施設も含めた指定管理施設と一体で、スキー場経営については前向きには考えていきたいと、ただ現在ある索道がシングルリフトというようなこともあって、長期的なスキー場経営に現在の施設では厳しいのではないかと、それにかかる新規にする投資の部分も大きいというようなこともあって、協議を重ねているというところで回答をいただいております。最後に小出スキー場につきましては、都市公園内でもあるというようなこともありまして、近隣施設との一体的な管理も一つの方向として考えていただきたいというような話もしたところですが、小出スキー場につきましては従前どおりの市の関わり方を強く望んでいるというようなことで、4月の協議については止まっているというところであります。

佐藤委員長　それでは、これから質疑を行います。質疑はありますか。

富永委員　聞き逃したかもしれませんが、日にちを教えてくださいと、小出スキー場とのヒアリングのときに何名出席されましたでしょうか。

鈴木観光課長　日にちにつきましては、大湯温泉スキー場が4月23日、須原スキー場が4月24日、薬師スキー場が4月27日、小出スキー場も同日の午後ということであります。それから小出スキー場につきましては、2名の方から協議の場に来ていただきました。

星委員　各スキー場が文書で魚沼市に望むことを書いてきたと思いますが、それは今この場

では公にできないでしょうか。

鈴木観光課長 各スキー場からの要望事項については、現時点ではどこの団体からもまだ出てきていない状況です。

星委員 私が把握しているところだと、6月末までに出してくれということだったけれども、まだ出てきていないということではないですか。

鈴木観光課長 確かにスケジュールの案として、市としては一旦6月の段階で皆さんのご要望も踏まえていただきたいと、当然予算の関係もございまして意向を聞かせてもらいたいということではあったんですけども、まさにコロナの関係も含めて現時点では提出がないという状況であります。スケジュールはあくまでも行政側の案ということで示した部分であります。

岡部委員 今後協議していくスケジュールはどのように考えているのかお聞かせください。

武藤産業経済部長 今後のスケジュールですけれども、まずそれぞれの事業者から要望事項の提出を受けて、それをたたき台にして考えていきたいと思っています。ですので、スケジュールというご質問であれば、当然のことながら我々は来年度予算の決定前までには方針は決めていきたいという考えでありますし、そのためにはうまく相手様から条件を出していただいて、その条件で協議ができる、そういうスタンスにもっていききたいんですよ。ですので、特定の事業主さんからは、やはり今までどおりの関与であっていただきたいという要望である以上、どうしても条件の協議にならないですので、条件が出てきているスキー場もありますので、そちらのスキー場については条件に基づいて今後市長を含めた協議を行って、条件がまだ出てきていないスキー場につきましては、なるべく早く条件を出してくださいということで協議を進めていきたいと考えております。ただその中でも、例えば一つの条件としましては、令和3年4月以降も無償で用地を使わせてほしいという要望があったとすれば、それについては議決事項になりますので、その辺については我々もそれでいいからという答えはできませんので、その辺は上手に協議を進めていきたいと考えております。

岡部委員 来年度予算が決まるまでということですが、最終的なタイムリミットを何月くらいに、我々も小出スキー場においては従来どおりという話は聞いているんですよ。そうすると対象にならないし、早く条件をつけて、何とか自分たちがやりたいようであればそのタイムリミットはいつだよというように、少しずつ追い込んでいかないとずるずる行って協議中で終わってしまうような気がするの、予算が確定するのはいつかというのが分かったら教えてほしいんですけど。

武藤産業経済部長 予算が確定するのは、最終的には例年のスケジュールですと年明け、1月中には市長ヒアリングの終盤になってきます。ですので、できれば年内、そうは言っても実際に予算編成については早く動き始めていますので、10月末には予算編成方針を出すという流れでございまして、編成方針を出して、通常の予算要求、担当課で予算要求ができるまでには、当然決めていきたいというのが担当課の考えであります。

富永委員 10月には予算の編成方針を出さなければならないということですので、さきほど要望の提出を6月と予定していたけれどもコロナの関係でそれが遅れている。その6月に予定していた各スキー場からの要望の提出を何月にしなければならないと思っているのかお聞かせください。

鈴木観光課長 当初、予定として我々のほうで示したスケジュール案としては6月末を一旦、要望も踏まえてお出しいただく、当然その要望の中には議決を要するものもあつたり、そうではなくて修繕で終わるものもあろうかと思うんですが、市として全部受けることができない要望も出てくる部分がありますので、その際各事業所にお示ししたスケジュールの中では8月末までには最終的に方向をいただきたいとお話をさせていただきました。そうすることによって市のほうで受けられる要望、のめる要望について、当然スキー関係の施設になりますので、見積り等もちょっと時間がかかると、10月末の予算編成までにそういった時間も必要だということで、スケジュール案では8月末までには一つめどをつけながら考えを聞かせてほしいという話も併せてさせていただきましたというところです。

岡部委員 要望書を見て、協議して決めるということですが、要望の中で今このくらいまでなら、市としても、いろんな面で金額的に要望の中でのみ込んでいけるみたいな、枠組みみたいなものは具体的にありますか。

武藤産業経済部長 要望に対する枠組み、上限等は今のところ考えておりません。要望の内容を拝見させていただいた中で、また市長との協議を行わせていただきたいと考えています。

浅井委員 要望がまとまらないと、委員会でスキー場のことを話しても何も情報がもらえないということですか。

武藤産業経済部長 一斉に4つのスキー場の要望が出てきてまとまるということは考えられませんので、当然委員会の中ではその時々に応じて必要な情報は提供してまいりたいと思います。それからもう一点、さきほども話しましたが、我々は8月という一つの目安をとっていますが、条件となった部分、例えば無償で貸付けも継続して行うような案件につきましては、当然議会のほうに先んじてお話を申し上げておかないと、それで行きますというお答えも我々できませんので、当然委員会にはその部分もお示しした中で進めさせていただきたいと考えております。

浅井委員 その要望が1つのところから出てきたら、それが逐一委員会にこういうのが出てきましたというのが出されるわけですか。

武藤産業経済部長 あくまでも交渉の過程ですので逐一は出せないと思います。当然、要望が出てきて、それを受けての市長の考えも含めて、執行部としてある程度の方向性が固まって、そういう時点での情報は提供していきたいと思います。また今日話したような状況、概況でお話ができる部分については当然のことながらお示しをしていきたい。例えば、今までは条件が出てきていませんでしたが、このスキー場ではこういう条件提示がありましたというのにつきましては、当然お示ししていきたいと考えております。

佐藤委員長 ほかに質疑はありませんか。(なし)なければ、これで質疑を終結させていただきます。本件については引き続き調査することでご異議ありませんか。(異議なし) そのように決定しました。

(3) その他

佐藤委員長 日程第3、その他を議題とします。委員の皆様からご意見、協議事項等はありませんか。

岡部委員　プレミアム付商品券をやるということは承知しているんですけども、明日の市報の中に募集要項とかいろんなのが入ってくるという話ですが、サンキューキャンペーンのときに、それが来たときには完売だったとか、そういうトラブルがあったと。南魚沼市もプレミアム付商品券発行したら一斉に窓口に来て混乱してということがあるんですけども、魚沼市はそのような混乱にならないような取組をちゃんとしてあるかどうかお聞かせください。

武藤産業経済部長　岡部委員のおっしゃるとおり、明日付の市報で事業内容のチラシと応募券が入ります。確かにおっしゃるとおり南魚沼市は3日で売り切れたということですが、南魚沼市と我々では条件が違いまして、南魚沼市は1人5冊まで購入可能としましたし、内容については、南魚沼市は宿泊と飲食店だけに限った商品券でございました。魚沼市は皆さん御存じのとおり、魚沼市内の本店は全て対象といたします。それから発行の条件につきましても18歳以上1人1冊としておりますので、7月26日の販売予定の日にはやはり長蛇の列ができるものと思いますが、やはり1人1冊という条件がありますので、すぐに完売ということは今のところ想定はしておりません。ただ、一定の期間の中ではきれいにはけてくれるものと想定しております。販売につきましても、事業主体の魚沼市商工会連絡協議会には、当然コロナの対応としてはあまり密にならないように販売をしていただきたいという依頼はさせていただいております。

岡部委員　サンキューキャンペーンでは先着500名というのがすぐにはけて、好評だから次って言ったらそれはないよと、秋にまたそういう要望があればやるということですが、今回のプレミアム付商品券については、やってみなければ分かりませんが、完売した場合に、これだけ好評なんだから追加してやるかっていう、そういう考え方はありますか。

武藤産業経済部長　今後の補正予算にも絡む部分でございますので、市長のお考えとなると思います。私の今のお答えは控えさせていただきます。

佐藤委員長　ほかに何かありませんか。(なし) 本日の会議録の調製については、委員長に一任願います。本日の産業建設委員会はこれにて閉会します。

閉　　会（16：24）